

| | | | | |
|--|------------|------------------|---------------|---------|
| 担当教員 上羽 陽子 | | | | |
| 開始時期 前期 | 開講期間 半期 | 科目番号 20DCSc05 | 授業形態 演習 | 単位 2 |
| キーワード 染織技術、民族芸術学、工芸材料学 | | 対象学年 1,2,3 学年 | 聴講・参加資格 専攻 | |
| 科目名称：日本語 比較技術研究演習Ⅱ | | | | |
| 科目名称：英語 Seminar Ⅱ (Anthropology of Technology) | | | | |
| 科目の概要：日本語 染織技術の比較研究 | | | | |
| 科目の概要：英語 A Comparative Study of Textile Technique | | | | |
| 科目の目的： 履修者の専門地域における染織技術の技術的特徴を把握する | | | | |
| 学習成果・習得する技能や知識： 履修者の専門地域における染織技術の特徴を説明できるようになる | | | | |
| 成績評価方法・基準： 授業での平常点（30%）とレポート提出（40%）、実験的試作（30%）により評価する | | | | |
| 授業内容： 各自の専門地域における染織技術について、民族技術誌的背景を省察しながら、その現状について事例を報告しあい、お互いの討論を通じて比較技術研究をおこなう。同時に必要に応じて、受講者自ら染織技術に関する実験的試作に取り組み、民族芸術学および工芸材料学への基礎的な理解を促す。さらに、染織文化がなりたつ周辺の社会状況、染織技術を支える素材や道具、技術の継承法について焦点をあてながら、染織技術に関する本質的な議論へと発展させることが最終目的となる | | | | |
| 日程： 受講生と協議により定める | | | | |
| 実施場所： 国立民族学博物館・生活科学実験室 | | | | |
| 使用言語： 日本語 | | | | |
| 準備学習： 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること | | | | |

関連科目・履修条件：

なし

教科書・必読書：

必要に応じて授業内で指示する

参考書・その他の教材：

必要に応じて授業内で指示する

備考：

- ・実験的試作に必要となる繊維素材・染材等は各自が実費負担すること
- ・地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可